

今後の取組について

○ 北方領土遺産ツアー

野付半島には、江戸時代末期に国後島へ渡るための要所として設置された「野付通行屋」の遺跡が残されており、昨年に引き続き、別海町郷土資料館との共催で、野付通行屋跡遺跡を訪ねる北方領土遺産ツアーを開催する。

【内容】

- ・平成29年4月23日（日）
- ・定員 40名（昨年同様）

【第2弾 遺産ツアー】

ハッタリ浜ケーブル庫、落石無線局、根室市北方領土資料館（納沙布）などの根室市内の北方領土遺産を巡る遺産ツアーの開催を検討。

○ 国後島に不時着したリンドバーグ夫妻と旧落石無線電信局に関する展示会

忘れてはいけない物語のひとつであるリンドバーグ夫妻の択捉島や国後島への夫妻の来島の事実や来島に大きな役割を果たした旧落石無線電信局について広く知っていただくため、当時の写真や報道記事などの資料に加え、夫妻の直筆サインなど、これまでの北方領土遺産発掘・継承事業の調査で発見した資料の展示会を実施する。

【リンドバーグ夫妻の来島】

1931年（昭和6）、北太平洋航路調査のためニューヨークを発ち、アラスカから千島列島沿いに南下し、根室を目指していたリンドバーグ夫妻の愛機シリウスが、濃霧のため、8月22日に択捉島紗那沼、23日に国後島の東沸湖に不時着。東沸では、近くにあった草小屋で島民の歓待を受け、翌朝には、差し入れのビールを持って駆けつけた島民達と、乾杯して出発。24日朝根室港に着水した。

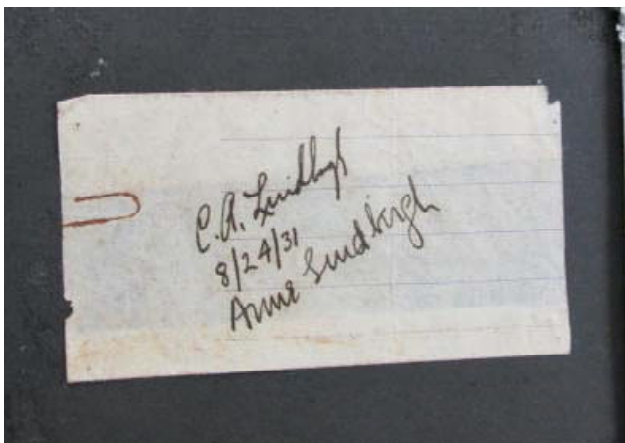
今回、遺産発掘・継承事業の元島民への調査の中で、24日朝の東沸出発時に夫妻が残したと考えられる直筆サインを確認。サインには「C. A. Lindbergh」と「Anne Lindbergh」、「8/24/31」（1931. 8. 24）の記述が鮮明に残されている。

【旧落石無線電信局】

1908年（明治41）設置。ソ連軍が択捉島・留別に上陸した1945年（昭和20）8月28日、紗那郵便局から発せられたソ連侵攻の第一報を受信。

1931年（昭和6）、リンドバーグ夫妻が国後島東沸湖から根室に飛来した際には、無線誘導し、無事に着水させた。

遺産発掘・継承事業の調査の中で、落石無線局で使用されていた機器や無線局の平面図などを発見しており、これらの紹介を行う。



リンドバーグ夫妻直筆のサイン



落石無線局の看板

○ 北方領土遺産・発掘継承事業 事業報告書

【内容】

- ・ H 2 7 からの取組結果を記録し周知するための報告書を作成

○ 第 2 回北方領土遺産調査検討懇談会（2月以降予定）

【議題】

- ・ H 2 9 事業の実施報告について
- ・ 「北方領土遺産・発掘継承事業 事業報告書」について
- ・ 北方領土遺産発掘・継承事業報告会について
- ・ その他

○ 平成 2 9 年度 北方領土遺産発掘・継承事業報告会（2月以降予定）

【内容】

- ・ 北方領土遺産発掘・継承事業での取組の報告
- ・ 北方領土遺産に関する講演